

## Ⅱ 調査結果

### 2. 1 暮らしについて

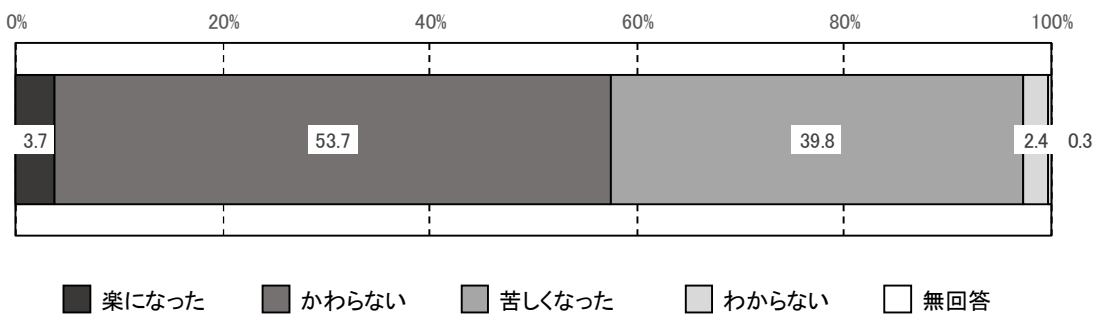
#### 問1 暮らしの前年比較

問1 あなたやあなたの家庭の暮らし向き(家計など)は、去年の今頃と比べてどうですか。(1つだけ)

全体(図1-1)で見ると、「かわらない」が53.7%と最も高く、次いで「苦しくなった」(39.8%)、「楽になった」(3.7%)の順となっている。

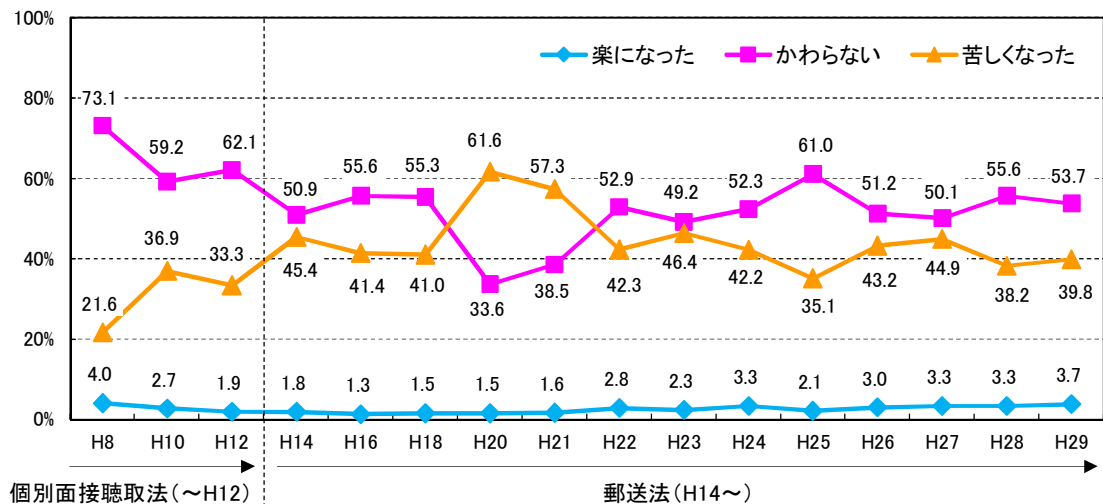
図1-1 暮らしの前年比較

回答者数(n=1,522)



経年変化(図1-2)で見ると、平成18年までは、「かわらない」が最も高くなっている。平成20年から平成21年では「苦しくなった」が最も高くなっており、平成22年からは再び「かわらない」が最も高くなっている。平成29年は、平成28年より「楽になった」が0.4ポイント高くなっており、また「苦しくなった」が1.6ポイント高くなっている。

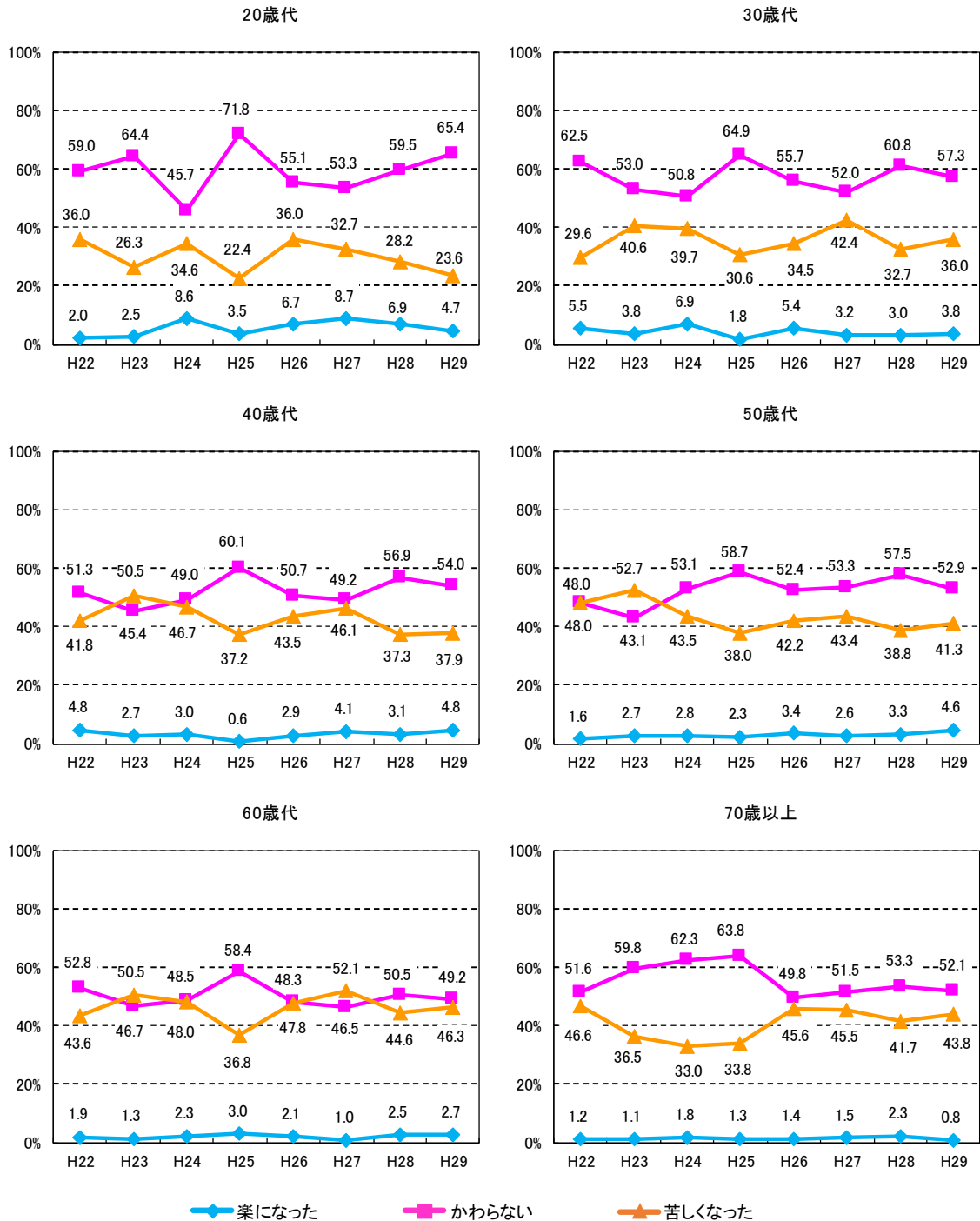
図1-2【経年変化】暮らしの前年比較



※ 調査方法:平成12年度まで個別面接聴取法、平成14年度から郵送法

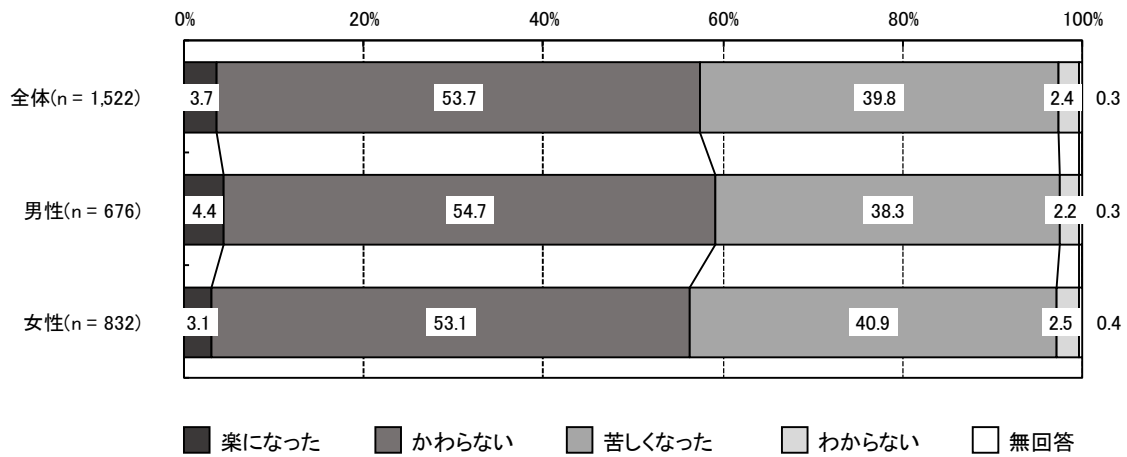
年代別の経年変化（図 1-3）で見ると、平成 29 年では平成 28 年に比べ、20 歳代以外の年代で「かわらない」のポイントが低くなり、「苦しくなった」のポイントが高くなっている。30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代では「楽になった」のポイントが高くなっている。

図 1-3 【経年変化(年代別)】くらしの前年比較



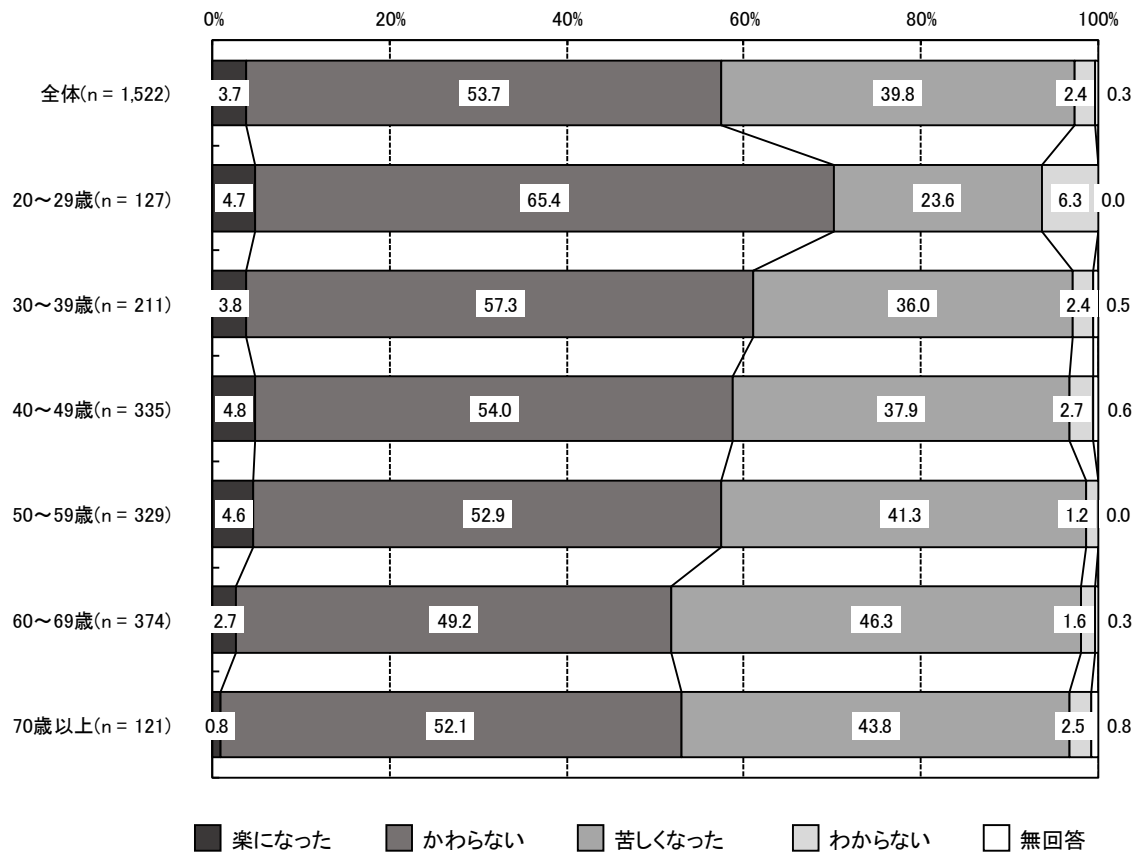
性別（図 1-4）で見ると、男女ともに「かわらない」が最も高く、男性が 54.7%、女性が 53.1%と、男性が女性より 1.6 ポイント高くなっている。

図 1-4 【性別】くらしの前年比較



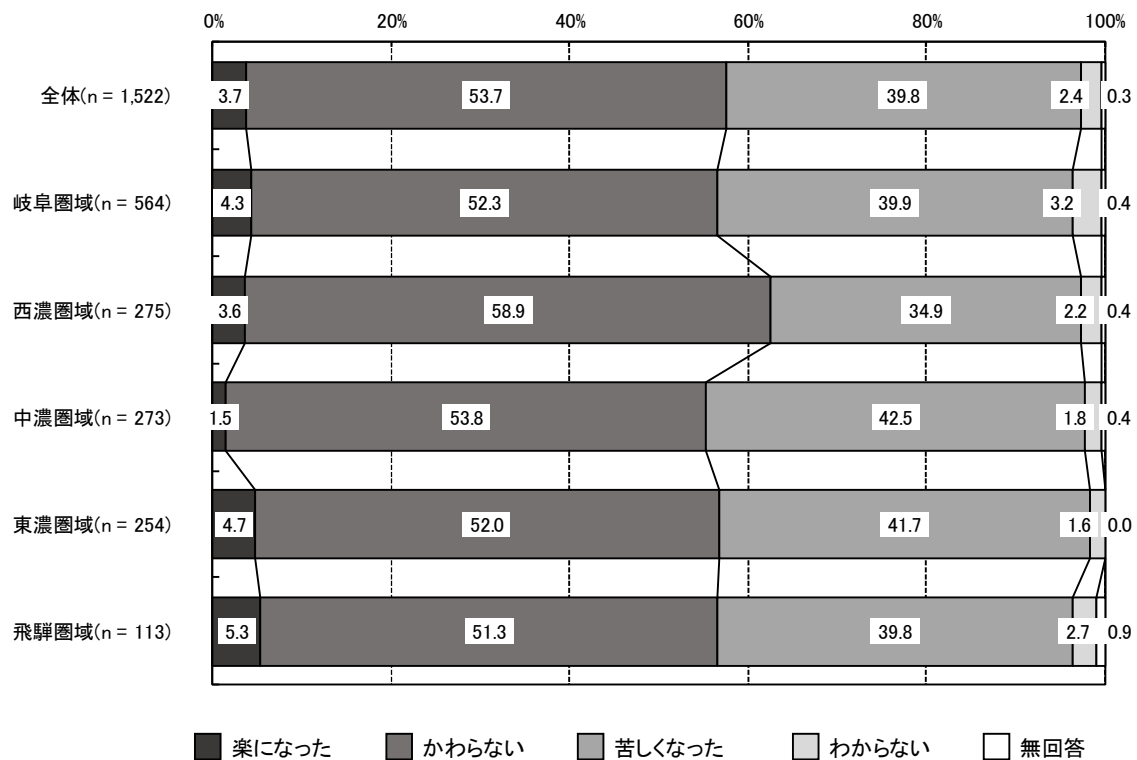
年代別（図 1-5）で見ると、「かわらない」は 20 歳代が 65.4%と最も高く、次いで 30 歳代（57.3%）、40 歳代（54.0%）の順となっている。また、「苦しくなった」は、60 歳代が 46.3%と最も高く、次いで 70 歳以上（43.8%）、50 歳代（41.3%）の順となっている。

図 1-5 【年代別】くらしの前年比較



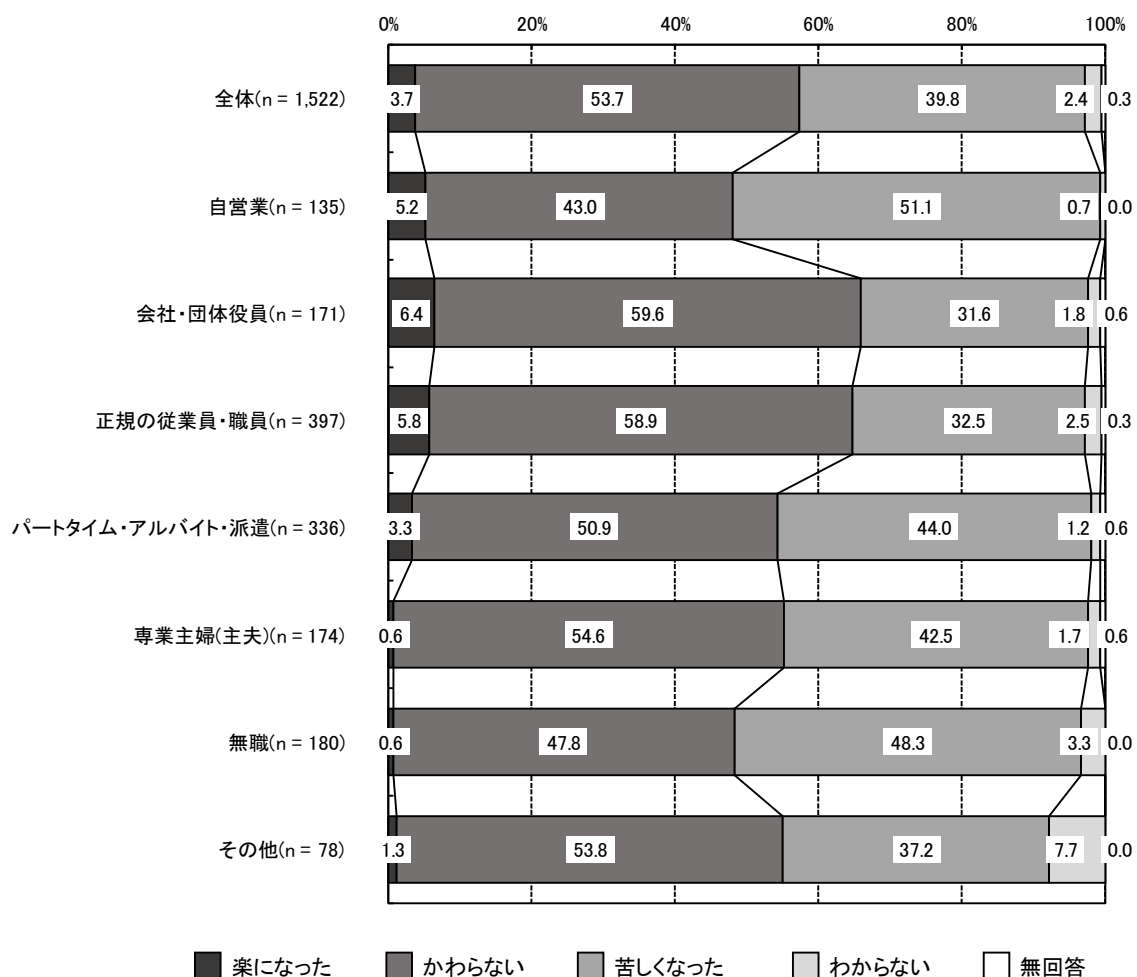
居住圏域別（図 1-6）でみると、「かわらない」は西濃圏域が 58.9%と最も高く、次いで中濃圏域（53.8%）、岐阜圏域（52.3%）の順となっている。「苦しくなった」では中濃圏域が 42.5%と最も高く、次いで東濃圏域（41.7%）、岐阜圏域（39.9%）の順となっている。

図 1-6 【居住圏域別】くらしの前年比較



職業別（図1-7）で見ると、「かわらない」は会社・団体役員が59.6%と最も高く、次いで正規の従業員・職員（58.9%）、専業主婦（主夫）（54.6%）の順となっている。「苦しくなった」では自営業が51.1%と最も高く、次いで無職（48.3%）、パートタイム・アルバイト・派遣（44.0%）の順となっている。

図1-7 【職業別】くらしの前年比較



※ その他には、自由業、学生を含む